



防犯と交通安全功労者の皆さんを表彰

安心して暮らせる地域を目指して 「養父市民のつどい」開催

防犯と交通安全への決意を新たにす
る「養父市民のつどい」が11月14日、
おおやホールで開催されました。
式典では、防犯と交通安全への取り
組みに功績があった個人と団体に対す
る表彰が行われた後、但馬生活科学セ
ンターの消費生活相談員による「かし
こい消費者になるために」と題した講
演が行われ、参加者は身近な問題と
あつて熱心に聴講しました。
最後に、八鹿高等学校大屋校の代表
2人が「みんなが力を合わせ安心して
暮らせる、明るく住みよい街づくりを
目指していきましょう」と宣言文を力
強く読み上げ閉会しました。



芸術・文化活動を披露 各地域で恒例の文化祭

毎年、各地域で開催されている伝統ある文化祭が、10月下
旬から11月上旬にかけて開催されました。
文化祭では、市民の皆さんが日ごろ取り組んでいる文化活
動や芸術作品が展示され、その成果を発表するものです。芸
能発表では、大正琴や日本舞踊、カラオケ、三味線の演奏な
どを披露。作品展示では、書道やいけばな、写真など数多く
の力作が展示されていま
した。

各文化祭とも多くの方
が会場に足を運び、地域
に広がる芸術文化を肌で
感じていました。



数々の力作が展示された文化祭（関宮文化祭）

坑道を案内するガイド養成 産業遺産を次世代へ

11月9日、あけのべ自然学校と「鉱石の道」明延実行委員
会は、明延鉱山探検坑道を案内するガイド養成講座を行い、
受講者に修了書を手渡しました。同坑道は、明延鉱山閉山後、
その一部を青少年の鉱山学習施設として整備したもので、近
代鉱山の姿を残す貴重な産業遺産を見学できます。

この講座は、鉱山OBらがやっているガイドを養成するも
ので、高齢化が進んだガイドの後継者育成が課題となってい
たため開催されたものです。この日は最終日で、養父市、朝来市から応募のあった受講生6人が参加。鉱
山OBから坑道内の露出した鉱脈、削岩機やトロッコなどの機械について詳しく説明を受けました。

また、同実行委員会では、鉱山の歴史や探検坑道内の様子を説明するパンフレットを作成しました。希
望者には無料でお渡ししています。問い合わせは市立あけのべ自然学校（☎668-0258）



坑道で説明を受ける受講生ら（11月4日第2回講座）